

平成 30 年 6 月 28 日

お客様各位

日本農薬株式会社

農薬登録のご連絡の件

首記の件、下記について登録されましたのでご連絡致します。

記

適用拡大 平成 30 年 6 月 27 日付 (3 件)

(1)日農スプレーオイル

登録第 10601 号

①希釈倍数の変更:なし(ハダニ類、ハダニ類の越冬卵)/30 倍⇒30～200 倍

②適用病害虫名の追加:なし/ニセナシバダニ(200 倍)

【変更後】

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	マシン油を含む農薬の総使用回数
なし	カイガラムシ類	30～50 倍	200～700ℓ /10a	発芽前	—	散布	—
	ハダニ類 ハダニ類の越冬卵	30～200 倍					
	ニセナシバダニ	200 倍					

* 注意事項の変更はありません。

(2)アプロード水和剤

登録第 15677 号

〈1〉適用内容の変更

使用方法の追加:すだち(ミカンコナカイガラムシ)、1000 倍、5ℓ/㎡、3 回以内、土壌灌注

【変更後】

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ブプロフェジンを含む農薬の総使用回数
かんきつ (みかん、すだちを除く)	カイガラムシ類幼虫	1000～1500 倍	200～ 700ℓ /10a	収穫 45 日前 まで	3 回以内	散布	3回以内
	ミカンゲコナジラミ若齢幼虫	1000 倍					
すだち	カイガラムシ類幼虫	1000～1500 倍	5ℓ/㎡		3 回以内	散布	3回以内
	ミカンゲコナジラミ若齢幼虫	1000 倍					
	ミカンコナカイガラムシ		土壌灌注				

〈2〉注意事項の変更

【追加】

・すだちのミカンコナカイガラムシ防除に使用する場合は、本種が寄生する土壌中の細根部にしっかり薬液が行き渡るよう樹冠下の地面に灌注するのが効果的である。

(3)日農クリンチャージャンボ

登録第 19795 号

〈1〉適用内容の変更

①適用雑草名の追加: 移植水稻/キシュウスメヒエ、アセガヤ

②使用時期の変更: 移植水稻(小包装(パック)20個(1kg)/10a)/移植後 15日～ヒエ3葉期 但し、収穫40日前まで
⇒移植後 7日～ヒエ4葉期 但し、収穫30日前まで

移植水稻(小包装(パック)30個(1.5kg)/10a)/移植後 25日～ヒエ4葉期 但し、収穫40日前まで
⇒移植後 25日～ヒエ5葉期 但し、収穫30日前まで

③作物名の追加: 直播水稻

④適用土壌及び適用地帯の削除

【変更後】

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法	シロホップチルを含む農薬の総使用回数
移植水稻	ヒエ キシュウスメヒエ アセガヤ	移植後 7日～ヒエ4葉期 但し、収穫30日前まで	小包装(パック) 20個(1kg)/10a	2回 以内	水田に小包装(パック)のまま 投げ入れる。	3回以内
		移植後 25日～ヒエ5葉期 但し、収穫30日前まで	小包装(パック) 30個(1.5kg)/10a			
直播水稻	ヒエ	は種後 10日～ヒエ3葉期 但し、収穫30日前まで	小包装(パック) 20個(1kg)/10a			
		は種後 25日～ヒエ4葉期 但し、収穫30日前まで	小包装(パック) 30個(1.5kg)/10a			

〈2〉注意事項の変更

【追加・変更後】

- ・本剤は水溶性フィルムで小包装した製剤をそのまま、10アール当り20個(移植水稻でヒエ4葉期まで、直播水稻でヒエ3葉期まで)又は30個(移植水稻ではヒエ5葉期まで、直播水稻ではヒエ4葉期まで)の割合で水田に均一に投げ入れること。
- ・キシュウスメヒエ防除は展開葉が水面に接する条件で使用すること。
- ・アセガヤには、草丈20cmまで有効なので時期を失ないように散布すること。
- ・砂質土壌の水田及び漏水田(減水深2cm/日以上)では使用をさけること。
- ・本剤の使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意するほか、別途提供されている技術情報も参考にして使用すること。特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けること。

以上